

令和5年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査  
結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月12日（水）に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日（火）に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す児童像等）の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。

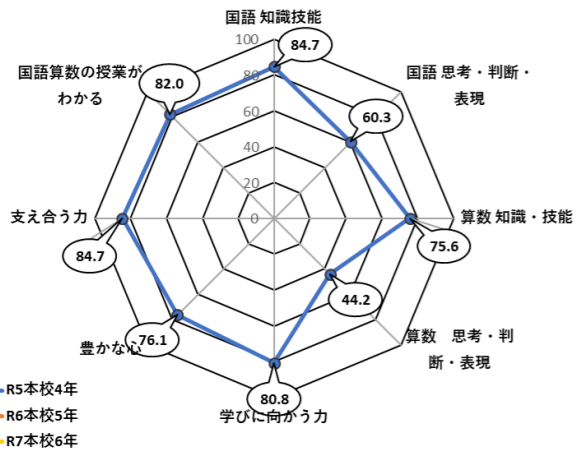
【学校教育目標】

- 深く考える子
- 思いやりのある子
- たくましい子

【学校運営方針、めざす子供像】

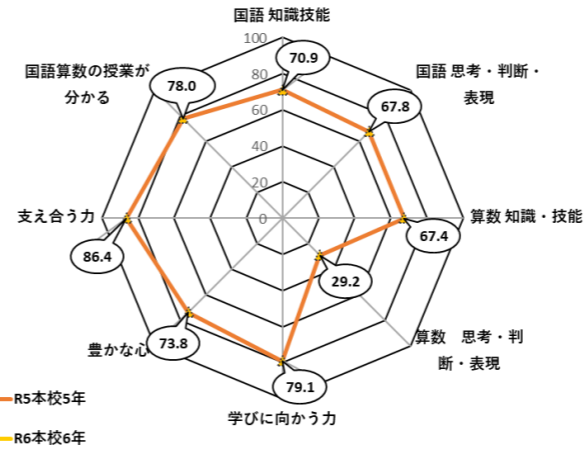
- 学びの中で自らの成長を実感できる → 確かな学力の育成（自ら学び自ら考える子 学び合い、高め合う子）
- 人とのかかわりの中で心を育む → 豊かな心の育成（相手の気持ちを考える子 お互いのよさを認め合う子）
- 心身の成長と共に健康安全を大切にす → 健やかな心身の育成（心も体も大切にす子 安心安全に生活する子）
- 地域・保護者とのつながりで子供を育てる → 地域に開かれた魅力ある学校づくり（地域と共に育つ子）

令和5年度 川崎市学習状況調査 4年生



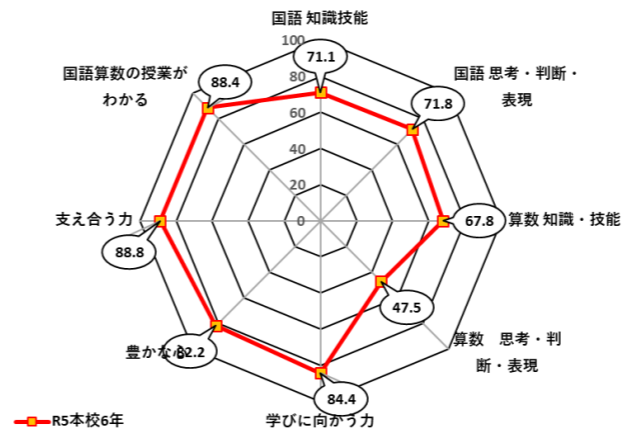
- ・「国語 知識技能」は84.7ポイントでした。学習内容を理解し、しっかりと定着しています。内訳をみると「漢字の読み書き」や「言葉の特徴や使い方」も全国の値を上回っており、日頃の基礎学習の積み重ねが結果として表れていました。
- ・「国語 思考判断表現」は60.3ポイントでした。その中でも「書く力」は27.3ポイントとなっており、特に低くなっています。学習の中で、「書く」を育てるために土台となる「読解力」とともに思いを表現する力を丁寧に指導していきます。
- ・「算数 知識技能」が75.6ポイントに対し、「算数 思考判断表現」は44.2ポイントです。今年度は、本校の校内研究として「算数」の研究を推進しており、「数学的な考え方」を深められる指導法を学校全体で考え、実践します。
- ・「支え合う力」は84.7ポイント、「豊かな心」は76.1ポイントと高い数値となりました。学校運営方針「豊かな心の育成」を踏まえ、相手の気持ちを考える姿を価値づけ、行事や生活面など、学校の様々な場面で引き続き大切にしていきます。

令和5年度 川崎市学習状況調査 5年生

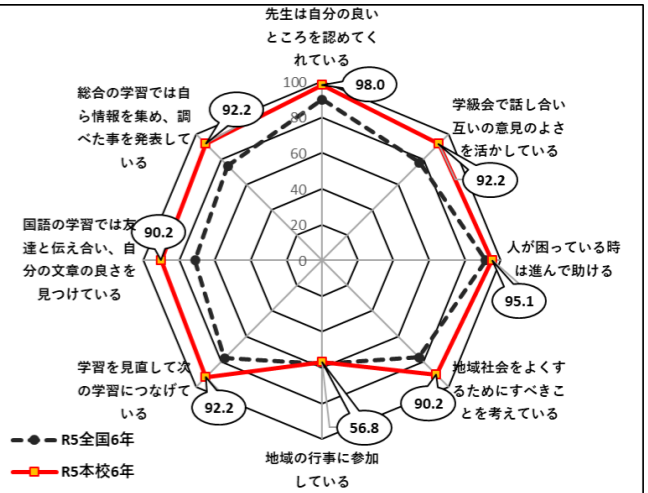


- ・「国語 知識技能」は70.9ポイントでした。内訳を見ると、「書くこと」に加え、「言語文化」も全国の値を下回っており。特に「漢字の読み」は全国の値を大きく下回りました。日頃の漢字学習や言葉の学習を積み重ね、しっかりと学習内容を定着させながら学習を進めていきます。
- ・「算数 思考判断表現」は29.2ポイントでした。特に「変化と関係」の値が低く、比例などの伴って変わる関係の見取り方に難しさを感じています。具体物の操作や数直線で関係を表す活動を多く学習に取り入れ、数学的な見方考え方を働かせながら学習できるようにしていきます。
- ・「支え合う力」は86.4ポイントで、全国の値を大きく上回りました。「対話力」も高く、日頃の良好な学級環境、友達との信頼関係が見られます。
- ・「学びに向かう力」も高い値となっています。その力を確かな「学力の育成」に結び付けていけるように指導方法を改善していきたいと思ひます。

令和5年度 川崎市学習状況調査 6年生



全国学力・学習状況調査 6年生



- ・「国語 知識技能」は71.1ポイント、「国語 思考判断表現」は71.8ポイントと全国の値を上回りました。特に「漢字の書き」「読むこと」の値が高く、国語の学習内容が定着していることが分かります。
- ・全国調査「国語の学習では友達と伝え合い、自分の文章のよさを見つけている」の値は90.2ポイントと全国平均を大きく上回っており、言葉の意味や表現の仕方に着目して文章を丁寧に読み取り、話し合う活動を取り入れてきたことが成果となって表れました。
- ・「算数 知識技能」は67.8ポイント、「算数 思考判断表現」は47.5ポイントと全国の値をわずかに上回りました。しかしながら「算数 記述式」の値が41.8ポイントと低い結果となりました。解答を求めるだけでなく、なぜその解答になるのかその説明する機会を多く設け、筋道立てて論じることができる力を身に付けられるような指導方法を実践していきたいと思ひます。
- ・「学級会で話し合い、互いのよさを活かしている」は、92.2ポイントでした。学級会に限らず委員会活動、実行委員活動等で、様々な意見のよさを認めている成果が表れました。学校運営方針の「お互いのよさを認め合う子」を今後も目指していきます。
- ・コロナ禍もあり、「地域の行事に参加」する子は少なかったのですが、緩和に伴い地域と関わりを推進しながら学校教育を進めていきたいと思ひます。